



栃木県立鹿沼高等学校

全
日
制



所在地 〒322-0043 鹿沼市万町960
 電話 0289-62-5115
 F A X 0289-65-7601
 U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/kanuma/nc2/>
 創 立 大正14年
 課 程 全日制課程
 設置学科 普通科
 生徒数 710人(男子357名 女子353名)(令和3年5月1日現在)
 利用交通機関 東武日光線 新鹿沼駅から徒歩7分
 鹿沼市リーバス 鹿沼高校前から徒歩1分

I 学校の概要

1 学校教育目標

自主自律の精神に富み、心豊かで、郷土及び社会の発展に貢献できる人間を育成する。

2 目指す学校像

- 学習指導の充実に努め、生徒一人一人の学力向上と進路希望の実現を図る学校
- 自他を愛する豊かな人間性を培い、協調性に富む生徒を育てる学校
- 強健な身体と不屈の精神をもつ、志の高い生徒を育てる学校

3 募集する生徒像

本校の学校教育目標と目指す学校像を理解し、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する志の高い生徒

- (1) 優れた学力と明確な進路意識を有し、意欲的に学習に取り組む生徒
- (2) 文化・スポーツ・社会活動のいずれかの分野において優れた資質・意欲を有し、本校での学習に適応できる学力を有する生徒

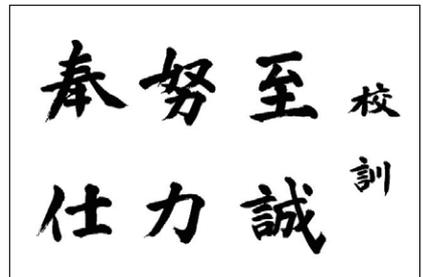
4 学校の特徴

生徒は落ち着いた雰囲気の中で日々学習に励む一方で、体育大会や合唱コンクール、「鹿苑祭」(学校祭)などの学校行事を通して豊かな感性と体力を身に付けていきます。部活動には、ほとんどの生徒が加入して熱心に取り組んでおり、運動部、文化部ともに多くの部が全国大会、関東大会に出場するなど、めざましい成果をあげています。また、ボランティア活動も盛んで、一定の条件を満たした生徒には学校外学修として単位の認定も行っています。

そして、こうした多様で充実した学校生活の集大成として、毎年質の高い優れた進学実績が残され続けています。

5 制服の特徴

男子は冬が学生服、夏がワイシャツです。女子については夏冬それぞれ二種類(セーラー、テーラー)の制服があり、希望者には女子用パンツも自由に選ぶことができます。夏用セーラーには長袖と半袖があります。胸章は真・善・美の象徴として橄欖^{かんらん}の三つ葉をデザイン化しています。



冬服

セーラー

テーラー

夏服

セーラー

テーラー

II 学習指導について- 3つの具体策-

《具体策①》主体的・協働的学習の促進

通常平日の始業前・放課後、通常の土曜日、長期休業中に生徒の主体的な学習を支援するための学習施設や学習時間を設定し生徒・保護者への周知を行っています。本校では始業時間前の自習時間を「ミニクリエイト」と呼び、自主的・主体的学習を励行しています。また、様々な場面で、きめの細かい学習指導を推進し生徒の学習時間の確保を図っています。



《具体策②》高大連携の推進

平成28年3月16日に本校と白鷗大学の間で高大連携に関する協定を締結しました。この協定に基づき本校生徒の大学講義の受講や、本校生徒との大学生や大学教員との交流を積極的に推進しています。

《具体策③》課題解決型学習プログラムの導入

総合的な探究の時間を本校では「クリエイト」と呼んでいます。この「クリエイト」の時間を中心にして本校独自の課題解決型学習プログラムの導入を図り、「真の学力」を育成するための課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学習の習得を図っています。

これからの時代を『生きる力』を育むために、これまでの様々な実践の中で蓄積されてきた「鹿沼高校の伝統」をしっかりと認識し自信を持って引き継いでいきたいと思っています。そして、その「鹿沼高校の伝統」をさらに伸ばすために上記のような3つの方策を実践しています。生徒たちに主体的・協働的な学びの場を提供することで、創立100周年を見据えながら全職員が一丸となって、本校の学習指導をさらに発展させていきたいと考えています。

III 進路について

将来の夢を実現させるために自分の進む路（みち）をクリエイトする

本校では「総合的な探究の時間」を「クリエイト」と呼んでいます。第1学年では自己理解と職業観の育成、第2学年では将来に向けた視野の拡大、第3学年では具体的な進路選択とその実現をテーマに進路学習を展開しています。また、全学年を対象とした長期休業中の課外、さらに3年生を対象にした平日及び土曜課外等、進路実現に向けた取り組みを行っています。

1 主な大学の合格数（3年間：H30～R2）

<国公立大学>

東北大学	8	横浜国立大学	3
山形大学	18	新潟大学	9
福島大学	11	金沢大学	2
茨城大学	13	信州大学	2
筑波大学	2	群馬県立女子大学	5
宇都宮大学	74	高崎経済大学	7
群馬大学	8	埼玉県立大学	6
埼玉大学	15	東京都立大学	1
千葉大学	5	横浜市立大学	2
電気通信大学	4	都留文科大学	3
東京学芸大学	3		

<私立大学>

国際医療福祉大学	43	中央大学	22
自治医科大学	13	青山学院大学	7
白鷗大学	145	東京理科大学	11
獨協大学	18	東洋大学	60
文教大学	41	日本大学	66
千葉工業大学	45	法政大学	22
青山学院大学	10	明治大学	19
学習院大学	6	明治学院大学	12
駒澤大学	18	立教大学	4
芝浦工業大学	26	早稲田大学	3
成蹊大学	9	同志社大学	4
専修大学	19		

2 進路状況（令和2年度卒業生）



IV 学校行事について

伝統ある名門校として文武両道を目指しています。(創立100周年に向け力強い一歩を踏み出す)



5月 芸術鑑賞会



7月 合唱コンクール



10月 修学旅行



5 体育大会



8月 鹿苑祭



10月 クリエイティブフォーラム

校内体育大会では、球技やリレー、大縄跳びで白熱した試合が繰り広げられます。合唱コンクールでは各クラスの生徒全員が力を合わせて優勝を目指し、最大のイベント「鹿苑祭」では、文化部などによる見ごたえのあるパフォーマンスや工夫を凝らしたクラス展示を行います。

V 部活動・ボランティア活動について

1 部活動

部活動への全体の加入率は約90%です。運動部だけでも加入率は50%を超えていて、放課後には多くの生徒が練習に汗を流しています。

部員が多いだけでなく、活動のレベルが高いことも本校の自慢です。令和元年度は全国大会に3部、関東大会に6部が出場しています。文化部の生徒たちも、部展や演奏会などの場で、質の高い作品や演奏を披露しています。



卓球部

— 上位大会に出場した部（令和元年度） —

全国大会出場 アーチェリー部 放送部 化学部
 関東大会出場 アーチェリー部 弓道部 卓球部 陸上競技部 水泳部 放送部

文化部
サイエンス 音楽(管弦楽団 合唱団) 演劇 書道 茶華道 英語 写真 手芸 囲碁将棋 放送 ボランティア アート カレー研究

運動部
バスケットボール バレーボール ソフトテニス 卓球 野球 陸上競技 剣道 弓道 ダンス サッカー ホッケー アーチェリー



弓道部



音楽 管弦楽団



野球部

2 ボランティア活動

多くの部が、地域行事への参加や各種施設訪問などのボランティア活動を行っています。また、個人としてボランティア活動を積極的に行っている生徒もいます。

様々なボランティア活動（令和元年度実績）	
ボランティア部	「鹿沼ふれあいウォーク」などの地域行事参加、保育園訪問など
音楽部	福祉施設訪問 など
放送部	「鹿沼さつき祭り花火大会」・「鹿沼市民歌の集い」でのアナウンス、地域行事参加など
手芸部	献血ルームボランティア
茶華道部	ケアハウス訪問
ダンス部	地域行事参加など
野球部	災害ボランティア、地域の美化活動など
書道部	「鹿沼市七夕まつり」・「東武書道祭り」などの地域行事参加
希望生徒	地域行事参加、福祉施設行事参加、盲学校運動会参加、富屋特別支援学校鹿沼分校運動会参加、災害ボランティア、中高生ボランティアスクール参加、学生ボランティア交流会参加など
学校外における学修 ボランティア単位取得者 37名	



ケアハウス訪問

VI 特色選抜について

1 定員の割合

普通科 20%程度

2 出願するための資格要件

各教科の学習成績が優秀で、本校での学習に適応できる学力を有し、人物的にも優れ、本校入学後は積極的に教科学習や特別活動などに取り組むことができる者で、次の（1）又は（2）のいずれかに該当する者

- （1）国語・社会・数学・理科・外国語の成績がいずれも極めて優秀な者で、大学進学という明確な進路目標を持ち、本校入学後も意欲的に学習活動に取り組む意志のある者
- （2）文化・スポーツ・社会活動のいずれかの分野において優れた資質を有し、本校入学後もそれらの活動に積極的かつ継続的に参加する意志のある者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面接	個人面接 時間10分程度
小論文	時間50分 字数600字程度

4 その他、特記事項

- ・令和3年度重点強化拠点校（競技：弓道（女子））
- ・令和3年度強化推進拠点校（競技：弓道（男子）、アーチェリー（男子・女子））

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書については、①「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計（135点満点）し、段階評価を行う。②国語・社会・数学・理科・外国語の「学習の記録」の評定を合計（75点満点）し、段階評価を行う。
- 3 調査書の点数化されない部分及び面接の結果から、資格要件の（2）に該当する実績について段階評価を行う。
- 4 面接及び小論文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に審議し、総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2①の評価が特に優秀、優秀である者を対象とし、【資料の取扱い】の2①、2②及び3の評価のいずれかが特に優秀である者で、4の評価が優秀または良好である者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議で合格内定となった者を除いた受検者のうち、【資料の取扱い】の2①の評価が良好である者を対象とし【資料の取扱い】2②及び3の評価のいずれかが特に優秀である者で4の評価が優秀または良好である者を合格内定とする。

第3次審議

第1・2次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。